

J R行田駅前広場周辺整備計画 ワークショップ市民提案書



1. はじめに

■ 市民提案の概要

J R行田駅前広場周辺整備計画の策定にあたり、駅利用者や地域住民、地元企業など、地域を利用する人の幅広い意見を計画に反映することを目的に、市民参加型のワークショップを開催しました。

本資料は、ワークショップの中で議論された、J R行田駅前広場周辺の整備方針について、市民提案として、取りまとめたものです。

■ ワークショップの方法

ワークショップは、10月～11月の2か月間に計4回開催し、参加者は4班（各班10人～12人）に別れ、各回ごとのテーマに沿って議論しました。

そして、最後の4回目に、J R行田駅前広場周辺の整備について、市民提案（4案）を行いました。

■ ワークショップの参加メンバー

39人

- ・ 一般公募の市民の方
- ・ 検討対象地区およびその周辺(太井地区)にお住まいの方
- ・ J R行田駅周辺の事業所にお勤めの方
- ・ ものづくり大学の学生

他

ワークショップの参加者
(第4回参加者)



2. 各回のワークショップの概要

■ ワークショップでの議論（各回の概要と主な意見）

日程	検討内容・テーマ	主な意見
10/7 第1回 参加者 37名	<<目的>> 駅前広場周辺の現況・課題について意見交換を行い、今後の方向性を整理する <<テーマ>> ①JR行田駅前広場周辺の現状をどう思いますか？ ②これからのJR行田駅前広場周辺をどうするとよいですか？ <<グループ発表>> <u>グループ毎に、現状の駅前広場周辺地区の問題点・方向性を発表</u>	<ul style="list-style-type: none"> ●対象地区のまちづくりについて (土地利用)商業施設・飲食店、行政施設、文化施設等の整備 (景観)街路樹や緑道ネットワークの整備・保全 (道路)県道行田停車場線の一部歩道整備(市道に移管した上で整備) ●駅前広場周辺について (交通処理機能)歩行者の安全性確保、バリアフリーへの配慮 (駐輪場)利便性向上(狭い、遠い、屋根がない)※立体化も検討 (公共交通)バスの利便性、アクセス性向上、タクシーの利便性向上 (その他)休憩施設、喫煙所の確保
10/24 第2回 参加者 31名	<<目的>> 駅前広場整備における必要な機能について意見交換を行い、方針を整理する <<テーマ>> ①JR行田駅前広場周辺のコンセプトは？ ②整備や配置を検討する際に配慮すべきことは？ <<グループ発表>> <u>グループ毎に、駅前広場周辺のコンセプト及び配慮して整備していく機能を発表</u>	A班：広域的にみんなが便利！ B班：人にやさしく安全・便利な行田駅 C班：観光都市行田 D班：地域住民にとって使いやすく、来訪者の人が集まれる行田駅前広場 ●主な配慮事項についての意見 (基本的な交通処理機能)歩行空間や自家用車スペース等を優先的に整備 (付加的機能)駐輪場・駐車場の整備、EV等お年寄りに配慮 (環境空間機能)複合施設の整備(行政・商業サービス、休憩施設、公園…等)
11/14 第3回 参加者 35名	<<目的>> 事務局で作成した駅前広場案(4案)をもとに、駅前広場の配置計画を検討し、駅前広場整備イメージ(案)を作成する <<テーマ>> JR行田駅前広場周辺に必要な機能の配置を考えよう！ <<グループ発表>> <u>グループ毎に駅前広場の動線や施設配置の方向性を発表</u> <u>⇒事務局提示案のうち、2案に絞られる</u>	A班：デッキ案(動線としては自家用車待機場が広ければ良い) B班：デッキ案(バス・タクシーと自家用車の動線は分離しない) C班：駅東側に車両動線を集約し、県道西側への歩行動線を確保 D班：駅東側に車両動線を集約するとともに、デッキを設置し、県道両側に歩行動線を確保 ●環境空間機能に関する意見 多機能施設の整備…行政サービス(住民票等、コミュニティセンター、図書館等) 商業サービス(コンビニ、飲食店、居酒屋、土産屋等) 観光案内所、休憩施設、多目的広場、喫煙所等
11/28 第4回 参加者 32名	<<目的>> 事務局で作成した駅前広場周辺整備方針案(2案)について意見交換を行い、市民提案としてまとめる <<テーマ>> ①デッキ案、②片寄せ案についてご意見をお聞かせ下さい！ <<グループ発表>> <u>グループ毎に、駅前広場周辺整備方針を発表</u>	A班：デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、市有地の集約による機能の集積) B班：デッキ案(現況駐車場用地に複合施設の整備、Y字デッキによる県道歩道両側への動線確保) C班：片寄せ+デッキ案(交番を移転し、駅前広場西側に複合施設を整備) D班：片寄せ案(交番を移転し、駅前広場西側及び現況駐車場用地に複合施設を整備)

3. JR行田駅周辺の課題と方向性について

■ JR行田駅周辺地区の課題や整備の方向性に対するワークショップでの意見

JR行田駅前周辺の問題点や駅前広場等の再整備の方向性を、土地利用や機能・防犯などの様々な方向から議論し、第1回のワークショップのまとめとして発表しました。

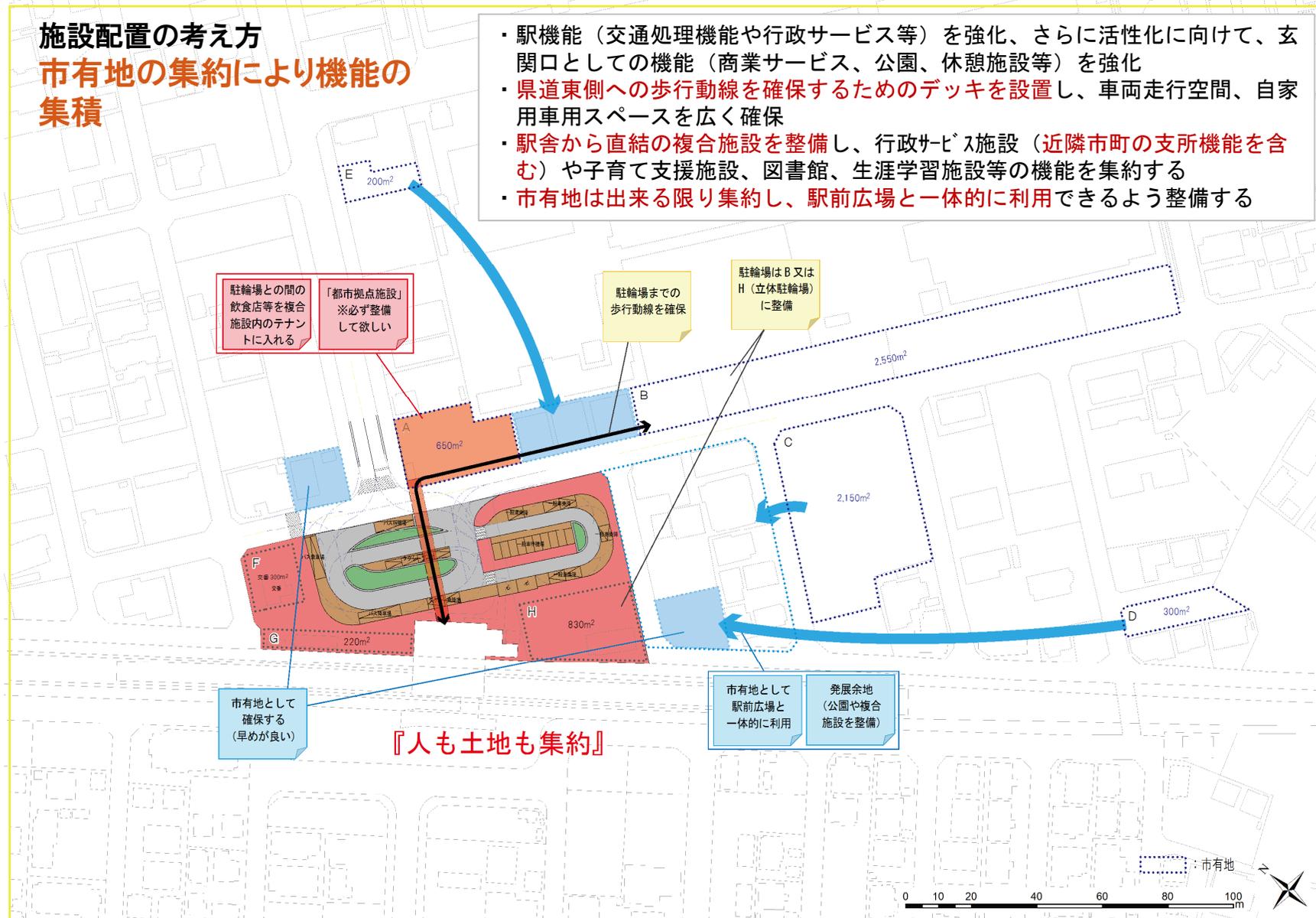
これをもとに、第2回以降のワークショップを進め、次頁以降に各班ごとの整備計画（案）を提案しています。

	A班	B班	C班	D班
問題点	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅が目的地でない ・商店等の集客施設がないため、使い勝手が悪い ・駐車場が多い 	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化施設がない ・長期間、開発されていない ・駐車場は利用者が少ない <p><u>景観について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR行田駅から水城公園まで緑道を整備してはどうか <p><u>県道行田停車場線について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道行田停車場線の歩道が一部未整備である ・街路樹が整備されているが、手入れされていない ・交差点が危険 	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年、街並みが変わらない ・清水町側の土地利用と機能分けが必要ではないか ・商業施設が少ない ・駐車場が多く、にぎわいが少ない ・ゴミが多い <p><u>防犯性について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外灯が暗い <p><u>県道行田停車場線について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道行田停車場線の歩道が一部狭い 	<p><u>周辺土地利用について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店が少ない（お酒を飲む場所が少ない） ・コンビニ等の商業施設が少ない ・駅周辺に立ち寄る施設がない
方向性	<p><u>市有地や駐車場の活用（交流の場）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅直結の複合施設 ・行政施設 ・商業施設（コンビニより大きい方が良い） ・駅前広場横の民地と市有地を入れ替えた方が良い 	<p><u>市有地や駐車場の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が少ない駐車場を活用 ・文化施設の整備 <p><u>景観形成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地としての機能強化 ・緑道ネットワークを形成 <p><u>県道行田停車場線の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅 ・市道に移管した上で整備 	<p><u>市有地や駐車場の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町（清水町等）との機能分担 ・行政施設、図書館等 ・商業施設（コンビニ（ATM）、スーパー等） <p><u>景観形成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・植樹帯の整備、維持管理 <p><u>県道行田停車場線の整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の拡幅 	<p><u>市有地や駐車場の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設・飲食店等 ・ビジネスホテル

4. 市民提案による駅前広場周辺の整備計画①

A班

基本コンセプト 広域的にみんなが便利！



4. 市民提案による駅前広場周辺の整備計画②

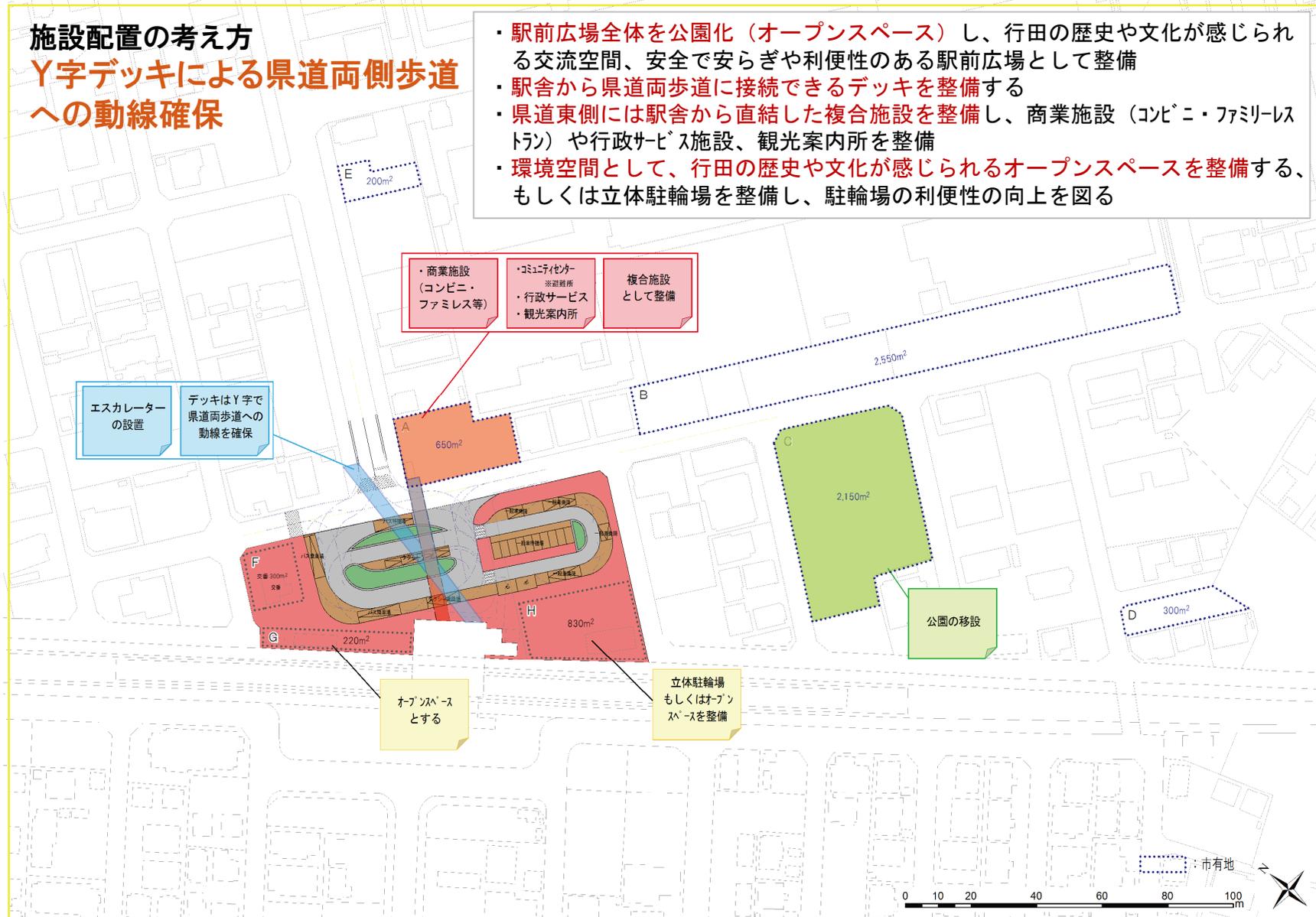
B班

基本コンセプト 人にやさしく安全・便利な行田駅

施設配置の考え方

Y字デッキによる県道両側歩道への動線確保

- ・駅前広場全体を公園化（オープンスペース）し、行田の歴史や文化が感じられる交流空間、安全で安らぎや利便性のある駅前広場として整備
- ・駅舎から県道両歩道に接続できるデッキを整備する
- ・県道東側には駅舎から直結した複合施設を整備し、商業施設（コンビニ・ファミリーレストラン）や行政サービス施設、観光案内所を整備
- ・環境空間として、行田の歴史や文化が感じられるオープンスペースを整備する、もしくは立体駐輪場を整備し、駐輪場の利便性の向上を図る



4. 市民提案による駅前広場周辺の整備計画④

D班

基本コンセプト 地域住民にとって使いやすく、来訪者の人が集まれる行田駅前広場

施設配置の考え方

駅前広場西側及び現況駐車場
用地に施設を整備
(交番移設も検討)

- ・ 地域の人を求めるもの（お年寄りの利便性、雨の日の利便性等）に加え、来訪者が求めるもの（観光案内機能、商業機能、休憩機能等）を整備
- ・ 駅前広場西側には図書館、自治会館、託児所等、地域住民のための施設を整備し、駅前広場前の現況駐車場用地には観光案内所の整備とともに、物産館や休憩施設等を併設することで来訪者を誘導する仕組みを作る
- ・ 現況駐輪場を公園とし、遊歩道を整備し、イベント等を開催する

